

第1学年 生活科 活動略案

令和7年11月21日 5校時
1年2組 33名

1. 単元名 「もっと!もっと!モルモット!」

2. 本時のねらい

グループの仲間と話し合い、モルモットが楽しく遊べる場所を協力して作ることができる。

3. 教師の願い

○遊び場づくりに取り組むことを通して、生き物に対する興味関心を広げてほしい。

○一人ひとりが「作ってみたい」という思いを実現する楽しさを味わってほしい。

4. 前時の様子

前回までは、本時に向けて遊び場作りを探究し、モルモットが楽しめる環境づくりについて友達と相談しながら家や遊び場を作成している。

5. 本時の展開 (15/25)

主な学習活動(予想される子どもの思い・願い・考え)	○…留意点等 評…評価
モルモットが楽しめる「ライ丸パーク」をつくろう。	
1. 本時でやることを確認する。 C: もっと楽しく遊べるように作りたい。 C: 作った遊び場でライオン丸に遊んでもらいたい。	○見通しをもって計画的に取り組むように声掛けをする。
2. チームごとの活動を確認し、活動する。 C: ブランコに木の柱を付けたい。 C: ゲージの飾りを作りたい。 C: ライオン丸の反応はどうだろう。確認したい。 C: 隠れ家や小箱があると安心できるかも。 C: もっとペットボトルをつなげたいな。 C: ペットボトルだと明るいから画用紙を貼ろう。 C: 段ボールだと壊れやすいな。 C: もっとたくさん遊ぶボールを作りたい。	○怪我をしないように、安全に気を付けながら活動するように声掛けをする。 ○自分の意見を伝えたり、友達の考えを生かしたり協働して活動できる雰囲気をつくる。 評 モルモットともっと仲良くなりたい、喜ばせたという思いや願いをもってモルモットの遊び場作りにかかわっている。 【主体的に学習に取り組む態度】(観察)
4. 道具の片づけをする。	
5. 本時の活動を振り返り、次時の計画を立てる。	○モルモットを遊ばせてみての感想や考えを全員で共有する。改善点や活動を整理して次回につなげる。